

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 緑化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 森林吸収源対策室 緑化 推進係 電話番号：058-272-1111(内4349)
E-mail : c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 4,062 千円 (前年度予算額： 4,273 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,273	0	0	0	0	0	0	0	4,273
要求額	4,062	0	0	0	0	0	0	0	4,062
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内の緑化の推進を図ることを目的に、岐阜県緑化功労者表彰、岐阜県緑化運動ポスターコンクールを実施するとともに、県内各地で開催されている緑化行事へ協力している。

(公社)岐阜県緑化推進委員会が実施する緑化推進活動は、県の緑化運動の推進に寄与するものであるため、賛助金等の負担を行う。

(2) 事業内容

①緑化普及啓発

緑化に対し功績が顕著な者等の表彰や緑化運動ポスターコンクールを行う。

②緑化推進事務

緑化事業の会議の出席や現地指導、全国植樹祭・全国育樹祭へ参加する。

③緑化推進事業賛助金・緑化行事負担金

(公社)岐阜県緑化推進委員会の会員として年会費を負担する。また、東海3県持ち回りで開催される「東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」に係る経費を負担する。(令和8年度開催県：三重県)

(3) 県負担・補助率の考え方

県の緑化推進に寄与するものであることから、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	18	緑化功労者表彰選考委員報償費
旅費	784	費用弁償25、業務旅費759
需用費	609	消耗品費529、会議費2、印刷製本費78
修繕費	81	小型貨物（パン）
役務費	274	通信運搬費242、保険15、公課費17
負担金	2,260	（公社）岐阜県緑化推進委員会会費等
使用料	36	ETC使用料等
合計	4,062	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

- (1) 災害に強い循環型の森林づくり
 - (ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援
 - (d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

（2）国・他県の状況

県の緑化推進に寄与するものであることから、県負担とする。

（3）後年度の財政負担

緑化推進のための経常経費。毎年同額程度の財源負担が必要。

（4）事業主体及びその妥当性

県は（公社）岐阜県緑化推進委員会の正会員であり、県緑化運動の推進に寄与する活動への賛助金等である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

緑化関係の各種表彰や、関係団体の会費を負担することにより、緑化関係事業に対する関心・意欲の増大を促進し、緑化思想の啓発を図るとともに、個人・団体等の自主的な活動による緑化推進活動が活発に行われるようとする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

緑化思想の啓発などは定量的に評価することができないため。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・令和4年度緑化運動ポスターコンクール実施 ・令和4年度緑化功労者表彰（3名） ・岐阜県みどりの少年団活動発表大会の開催
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	・令和5年度緑化運動ポスターコンクール実施 ・令和5年度緑化功労者表彰（2名） ・岐阜県みどりの少年団活動発表大会の開催
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	・令和6年度緑化運動ポスターコンクール実施 ・令和6年度緑化功労者表彰（2名） ・岐阜県みどりの少年団活動発表大会の開催
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	緑化思想の啓発などを図るために必要不可欠な事業である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	緑化運動ポスターコンクールの実施などにより、広く県民に緑化の普及啓発を図ることができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	旅費・消耗品は必要最低限とし、可能な限り経費の節減に努めている。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
特になし

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
緑化思想の啓発を進めるため、継続的に緑化運動ポスターコンクール、緑化関係表彰やみどりの少年団の活動支援を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	